

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 こすもす 組	6 月 4 日 (水)	苺部 英里奈

● 実施計画

活動テーマ	
サイエンス ～光～ 光と影の探検ごっこ	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
前回の影遊びを振り返ったり、影ができる場所を探して楽しんでいる。	
活動スケジュール	環境設定・準備物
時間	内容
10:00～10:15	影遊びについて振り返る。 「どんな遊びだったか？」 「どんな形ができたか？」 「影はどうやってできるのか？」と 子ども達に問いかけた。
10:15～10:40	影の探索 室内でどんな所に影ができているのかを探す。 探索していくうちに影の大きさ色、電気を付ける 消すとどうなるかと興味を持ったり発見する。
10:40～11:00	実際に発見したことをためす。 電気を付けたり、消したり懐中電灯を使って、 光の当たり方や影の作り方、色を観察する。 試していくうちに、ガラスや窓に光が反射している ことに、気付けるような声掛けをする。
懐中電灯を安全に使えるように確認する。 懐中電灯・光の反射の図 ホワイトボード・マーカーを準備する。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
前回の活動の広がりから光と影について、子ども達と話し自分たちで発見したり気づいたりできるようにした。	子どもの姿・声 「大きい影と小さい影があるよ」 「影がうすい所と濃い所があるよ」 「どうやって影ができるのかな？」と気づいたり、 疑問に思ったことを保育者に話していた。 保育者の関わり 子ども達と一緒に考えたり、子ども達の 気づきを大切にした。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
光と影、反射についてなど子ども達に伝えたり、広げていくのが難しかった。	光→光と影の探検ごっこという難しいテーマで子ども達の興味をどう引き出し、導入していけば良いのか、子ども達が自らやりたいと思う気持ちを大切に、日々の活動にどうつなげていけば良いのか、実際に見て難しさを感じた。子ども達の声を拾い上げ、一緒に考え取り組んでいく姿勢が見られ少しやり方の方向性が見えた気がする。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 こすもす 組	6 月 11 日 (水)	苅部 英里奈

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～光～ 光であそぼう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
光に興味を持ち、疑問を持つ。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	懐中電灯・鏡・コップ・10円玉を準備する。 光の動きを見やすいようにする。 懐中電灯の確認をする。
10:00～10:05	光の反射について振り返る。 「反射したものはなんだったか？」 「反射ってなんだっけ？」と 問いかける。 部屋を暗くして試そうと提案する。	
10:05～10:15	反射するもの、しないものを実際に試してみる。 できたもの、できなかったものを分ける。 →それぞれの特性について話す。	
10:15～10:30	鏡を使ってリレー遊びをする。 ルール説明をしてゲームを始める。 感想や光について質問し、光の反射について 気づきを援助するような声掛けをする。 光を使ってマジックができることを話す。 実際にやってみてどうして消えたように見えたの か、考えるきっかけをつくり、話し合う。	
10:30～10:40	マジックについて振り返る。 それぞれの感想を発表する。 次回の活動についてを話し、期待をもてるように する。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
光の反射がわかりやすいように、鏡を使ってリレーをして遊んだ。	子どもの声・姿 「鏡を動かすと光も動く」 「10円が消えるのなんで？」と言っていた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
保育者からきっかけを作ることで、子ども達から色々な気づきが出てきた。 子ども達の疑問に思ったことを実際に見せてみるとさらに興味を持つようになった。	光→光で遊ぼう 身近な光がこんなにも色々な不思議を提供してくれることに気づき、自分たちでも進んで取り組み考える、確かめる、やってみる、などの経験がしっかりできる機会を持てればと思う。

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 こすもす 組	6 月 18 日 (水)	苅部 英里奈

● 実施計画

活動テーマ	
サイエンス ～光～ 光のマジックをしよう	
活動テーマに関する 日頃の興味関心について	
光に関する不思議な現象に興味をもつ。	
活動スケジュール	環境設定 ・ 準備物
時間	内容
10:00～10:05	光のゲームを振り返る。 「どんなゲームだったか？」 「鏡を使ったらどうなったか？」と 光の反射について振り返る。
10:05～10:30	新しい光の性質”屈折”について実験する。 ①赤(コップいっぱい) ②青(コップ半分) ③黄(油)←10円玉をしずめる。 しずめる前にどうなるかと問いかける。 実際に入れて子ども達の気づきを聞く。
10:30～10:40	屈折の実験 水槽の代わりに虫かごで行う。 色を付けて分かりやすくする。 子ども達は色が付いたことに疑問を持つ。 「何でだと思う？」と問いかけてみる。 次回は光と影に色が付くのか試してみようと言を 掛けておく。
懐中電灯・コップ・10円玉・水・サラダ油・ペン 虫かごを準備する。 水がこぼれても安全なスペースを確保する。 子ども達が観察しやすいようにする。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
実験を楽しんでいた。 実験をすることで発見したり興味を持ったり驚きがあったりした。	子どもの姿・声 「すごい、なんで？」 「もういっかい、やってみて」と興味津々だった。

● 振り返り

保育者側の気づき	園長からの感想・助言内容
実験をすることでさらに興味がわいていた様子だった。	光→光のマジック ”屈折”という平素の生活ではあまり親しみのない難しい言葉にも親しみ、実際にどういう現象を

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 こすもす 組	6 月 25 日 (水)	苺部 英里奈

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～光～ 光や影に色をつけよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
前回の実験が楽しかったようで「〇〇もやってみよう」「〇〇も〇〇じゃない?」と積極的である。		
活動スケジュール		環境設定・準備物
時間	内容	懐中電灯・カラーセロファンを準備する。
10:00～10:05	前回の活動を振り返る。 色を付けて屈折をわかりやすくしたことについて話す。	
10:05～10:25	グループに分かれて影遊び 影遊びをして気づいたことをみんなで話し合う。 「色はどんなだった?」 「どうやったらできる?」と 声を掛ける。 懐中電灯にカラーセロファンを貼って窓にかざしてみる。 カラーセロファンを厚紙に貼って窓にかざしてみる。 床にうつる色等を観察する。 スタンドグラスの写真を見せながら知ってること、気づいたことを発表する。 どんな素材でできているか問いかける。	
10:40～10:50	気付いたこと、感想を発表する。 光と影について振り返る。	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
影遊び、実験を通して楽しく取り組んだ。 カラーセロファンを使って自分たちで色をつけることを楽しんでた。	「影っておもしろい」「色が付けられるの楽しい!」との声があった。 保育者の関わり たくさん問い掛けて子ども達が考えながら実験できるようにしたい。 「綺麗だね」「すごいね」と声を掛けた。

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
実験だけでなく、製作も楽しんで行うことができた。	光ー光や影に色をつけよう 今までの光の活動の中で一番楽しんで取り組むことができていたように思う。「影っておもしろい」の気づきがあり楽しそうに実験をしていた。